



第152号

2026年3月4日発行

発行⇒ 郵政産業労働者ユニオン
中国地方本部

Tel&Fax⇒ 082-244-7719

piwu-chugoku@abelia.ocn.ne.jp

http://www.piwu-chugoku.net/



郵政産業労働者ユニオン中国

職場から会社へのメッセージ②



前略 日本郵政 様

社員Cより

前略失礼いたします。

運用開始された輸送テレマティクス、どんだけ手間ひまがかかるシステムですか？

ペーパーレスと言うなら今までどおりパソコンに入力するだけで充分です。

運送記をなくすだけではだめですか？

発車までの時間が多めにかかり、配達局は到着時間が遅くなり、区分等に悪い影響がでてます。そもそもポスマバは使い勝手が悪いですよ。

どんだけお金かけたのですか？採算は採れてますか？

人は減っていますが、今後の対応大丈夫ですか？急に人は増やせませんよ。

計画的に人材確保しておかないと大変なことになりますよ。

この先不安に思っている社員が多いのはご存知ですか？

手遅れにならないことを祈ってます。

草々

社員Dより

前略失礼いたします。

私の魂の叫びです。

『最前線で働く人に光を当てよ！最前線がどんな苦勞をしているのか、

その目で見ろ！現場を離れて指揮を執るから方向を間違える。

全社一丸となってやらなければならない事は、何なのか？

人・物・金の宝をどう使うのか？全社員が幸福になるにはどうすべきなのか？

それを考え、実行するのが経営陣の責務だ！

一部の人だけが良い思いをするのは、チームワークを破壊する元凶となる。

大きくなりすぎた会社をスマートに！

要らない部門は統合・廃止するなどして人財を現場へ送り込むべきだ。』

草々



組合員が日頃の職場の中で会社に抱いている思いをしたためました。

郵政ユニオン中国地方本部 春闘要求書提出

郵政ユニオン中国地方本部は、日本郵便中国支社長に「2026年春季生活闘争の要求」を提出し、事実上、26春闘がスタートしました。

物価高騰が続く中、給与は上がりませんが私たちの生活は苦しくなっています。しかし、日本郵政グループは、内部留保を積み上げながら、現場を支える労働者にはこれまで十分な処遇改善をしてきませんでした。

このままでは憲法で保障された生存権すら危うい状況です。

だからこそ私たちは、「いま働く職場環境をよりよくする」「均等待遇の実現」そして、「ベースアップを伴う大幅な賃金引上げ」を強く要求していきます。

みなさんも私たちと共に声を挙げ、会社へ窮状を訴えていきましょう。

2026 年春季生活闘争の要求（抜粋）

【時給制契約社員処遇改善】

- スキル評価結果に基づき、時給制契約社員の資格給が決定されているが、スキル評価Aランクに到達できない職種が存在する。スキルAランクに到達できない職種をなくすこと。
- 非正規社員のスキル評価については、職種別のスキル評価シートに則った評価を行うこと。また、恣意的な評価やあいまいな評価を行う管理者・役職者に対する研修を徹底すること。
- 夏期・年末一時金の掛け率（0.3%）の根拠を明らかにすること。

【全社員共通】

- セクシャルハラスメント、パワーハラスメント等の研修についてはミーティングでの周知で済ませることなく、すべての社員に30分以上の時間を確保し、研修の質の向上をはかること。とくに役職者・管理者への研修は徹底すること。
- セクシャルハラスメント、パワーハラスメント等の相談窓口の対応の遅さが見受けられる。被害者のケアを含めて迅速に対応すること。
- 要員不足・点呼実施等により通常時でも勤務時間前後・休憩時間に仕事をする社員が散見される。そんな中、それを見て見ぬふりをする管理者がいまだにほとんどである。今一度、勤務時間管理を徹底し、休憩・休息が確保できるように指導を徹底すること。